

東照宮へ、ロマネスク日光街道⑧1日目 間々田宿～小山宿

日時：2023年8月26日（土） 天候：晴 歩数：21000歩 距離：14km

集合：JR東北本線間々田駅11時

コース：間々田駅→乙女上町公園→逢の榎→龍昌寺、寝起不動尊→間々田ひも店→へぎそば浅野屋茂兵衛店
→間々田宿本陣跡→間々田八幡宮→間々田八幡公園→千駄塚古墳→西堀酒造→安房神社→
コンビニ→天満宮→須賀神社、小山評定跡石碑→妙建寺→清水坂→佐野道道標→
小山市役所、小山評定跡石碑→小山宿脇本陣跡→スーパーホテル小山

参加者：熊坂L 奥村SL 勅使河原 高橋文 山内 清水 市村 高橋友 鹿島 9人

「東照宮へ、ロマネスク日光街道」⑧1日目、この日の小山市の予報最高気温は34℃、猛暑日は回避できましたがスタートからかなりの暑さです。それでも神社など緑の多いところは日影があり風も感じられて熱い身体を癒してくれました。そして、へぎそば浅野屋茂兵衛店での昼食、西堀酒造に立ち寄りをして日本酒購入、コンビニでのアイスクリームタイムなど、冷房のきいた「涼」を取りながらのコース設定でした。

江戸及び日光からそれぞれ11番目の間々田宿からスタート。ここからは日光街道後半、東照宮まで栃木県内を北上です。間々田八幡宮や安房神社等に寄り道しながら小山宿へ。小山評定跡が、「神社の境内で行われた」と伝わっている須賀神社と「市役所北隣の小山御殿跡地が小山評定の場所」としている小山市役所の敷地内にありました。歴史に諸説あるロマンを感じました。日光街道から清水坂を下り佐野道道標では、いにしえの人が船に乗って思川を渡り佐野道へ、どのような風景が広がっていたのか思いをめぐらせました。



須賀神社

間々田駅 11時～乙女上町公園 ストレッチ～日光街道中間点 逢の榎

閑散とした間々田駅前、青い空に白い夏の雲が広がっています。駅構内で熊坂リーダーが「間々田宿から小山宿をめざします。暑いので日傘使用OK」とコース説明。11時にスタート、前回2日目に雨で使用した傘が今日は日傘です。乙女上町公園でストレッチをして逢の榎へ。説明板に「間々田宿は、江戸及び日光からそれぞれ11番目の宿場にあたり、距離もほぼ18里（約72km）の中間に位置。間々田宿の入口にあった榎は、毎年街道を通った例幣使が中間のここに榎を植えて、旅の道のりを知ったのだという伝承が残されています。間（あい）の榎がいつの頃からか逢の榎と呼ばれるようになり・・・」と書かれていました。



龍昌寺 寝起不動尊～間々田ひも店～へぎそば浅野屋茂兵衛店で昼食

龍昌寺へ、境内一角に寝起不動尊が建っています。本尊の不動明王を水戸城内の龍江院から運んだ摸庵和尚が衰弱して寝込んだとき、枕元に現れた不動明王の力で元気になり床払いできたことから寝起不動尊と呼ばれるようになりました。少し歩いて間々田ひも店へ、帯じめや羽織の紐、ストラップなどが販売されていて購入する人も。刀の下げ緒が展示されていました。12時、街道を右に少し入った「へぎそば浅野屋茂兵衛」店へ入店。混んでいて奥の座敷へ。私は、店前の「暑い夏に丁度いい一品です」のメニュー案内に誘われて「から揚げおろしそば」を注文。蕎麦は好みの硬め、ボリュームたっぷりで美味しくいただきました。



間々田宿本陣跡～ 間々田八幡宮～間々田八幡公園～72.7km標識

街道に出てすぐのところに間々田宿本陣跡があり、説明板に「本陣主人は名字帯刀を許され・・・、青木家が代々この地で本陣を維持し・・・」と書かれていました。5分ほど進むと左手に間々田八幡宮一の鳥居、この参道真っすぐでなく住宅街の中を右に弧を描いています。しかも長い、5分ほど歩いて二の鳥居へ。創建は天平年間（729～749年）。天慶2年（939年）、藤原秀郷が平将門討伐の為に戦勝を祈願したと伝えられています。本殿前の参道に風鈴が吊り下げられていて涼を感じさせ、樹齢250年の夫婦杉が空高く伸びています。緑濃い間々田八幡公園を抜けて街道へ、「日本橋から72.7km」の標識が出ていました。



実をつけた栗の木～古墳のまち千駄塚～クローラーパーク～一路北上

庭先に大きな実をつけた栗の木がありました。暑さはまだ厳しいですが、秋が近づいてきているのを感じます。街道沿いに「古墳のまち千駄塚」の看板。街道から大分入った突き当りの小高くなっているところが千駄塚で、9世紀に造られたと考えられている大型の円墳です。墳丘の直径は約70m、高さ約10mで頂上に浅間神社があります。神社は手入れが行き届いてないようで荒れていました。「今日一番の難所」を下りてきて街道へ、「クローラーパーク」という看板が出ていました。ラジコンカーを走らせる施設の様です。日傘をさして一路北上、男性陣は信号待ちで塀の影へ、でも頭には陽が当たってしまっています。



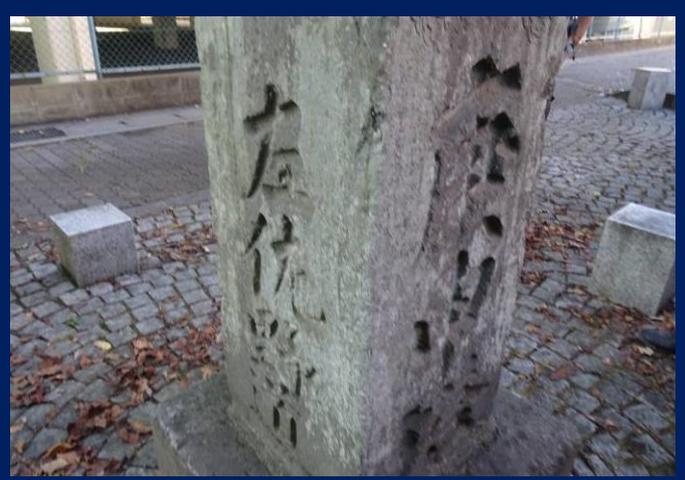
西堀酒造～安房神社～コンビニに入り冷たいもので涼～天満宮～北へ北へ

時刻は14時20分、地酒若盛「西堀酒造」の大きな看板、広い敷地を通り蔵造り店内へ。冷房が効いていて地酒がずらりと並んでいます。「純米門外不出」四合瓶を購入しました。冷房で身体が大分楽になりました。街道を進んで行くと民家の庭先に鮮やかな百日紅の花が咲いていました。14時40分、起源が千葉の安房神社を勧請したという安房神社へ。水分補給の小休憩をして街道へ、大きな長屋門の前を通過。15時15分、コンビニに入りアイスクリームなど冷たいもので涼をとります。元気がでて再スタートです。雲が出てきて少し風があり歩きやすくなりました。天満宮に立ち寄り、水分補給。再び街道を北へ北へ。



須賀神社 小山評定にまつわる石碑～妙建寺～清水坂～佐野道の道標

街道を左へ少し入り、国道4号沿いに面した須賀神社へ。小山評定にまつわる石碑が建てられています。慶長5年（1600年）7月24日、徳川家康は上杉景勝を討伐するために会津に向かっていた途上、下野国小山に本陣を置きました。その時、石田三成挙兵の報が入り、翌25日、本陣に諸将を招集して「このまま上杉を討つべきか、反転西上して石田を討つべきか」と軍議。「小山評定は神社の境内で行われた」と伝わっています。本堂前に幹を切り詰められた樅の木が残されていました。鳥居下で記念写真を撮り、隣の妙建寺へ。本堂の格子天井に百人一首が描かれています。少し進んで清水坂を下り佐野道の道標へ、「左佐野」と読み取れます。小山宿から思川を船で渡り、佐野方面へ向かう人々の道しるべとなっていました。



小山評定跡石碑～小山宿脇本陣跡～17時20分 スーパーホテル小山

清水坂を上り国道4号へ、東京から78kmまで進んできました。小山市役所に到着、ここにも小山評定跡由来の石碑がありました。小山市は、市役所北隣の小山御殿跡地を小山評定の場所と推定しているようです。中央町を小山駅方向に歩き、小山宿脇本陣跡でクールダウン。駅前上町の交差点を過ぎると、宿泊ホテルが見えてきました。17時20分、スーパーホテル小山に到着、歩数2万1000歩、距離14kmでした。各自部屋に入り荷物の整理や着替えをしてロビーへ下りてきました。ロビー横の朝食会場にウイスキーや焼酎のボトルが並んでいて、21時までにはフリードリンクとのこと、柿の種のつまみ付きでハイボールを一杯。9人全員がそろって小山駅前の居酒屋「てっぱち」へ、1日を振り返る楽しい夕食懇親会となりました。



(いちむら記)